

程の大事件にならうとは思はなかつた、併し作  
業局は労働問題の喧しい折衝の一の場合に備へ、職工の待遇に  
對しては攻究中であつて職工各自の満足を得る程度の算は既に  
なして上程し、通過も程近きに拘らず一部頑硬なる徒の煽動により此大  
作を起したのには返す可くも残念である、併し過ぎたとは仕方がない  
たのも職工の待遇に就き一方では官舎を與へ一方では與へぬといふ  
バランスを失して居る事や憲兵警官の手に依つて職工を壓

迫するに至つたのも當然の處置であ  
ると思ふ、私は職工の待遇が諸他の官舎に對して悪いとは思はない  
六十種の米を其家族の數に應じて四十八萬乃至八十八萬に對して賣  
り又住宅をも提供して官舎の如きは前庭に花卉を栽培する餘地もあ  
り亦彼等は贅澤な衣類を着用するのみならず  
衆議院の選舉權を有する者も四百名の數に及び  
生活の逼迫は寧ろ雇員等の下級判  
任官が甚しいのである、現在官舎も三千戸に及んで本年中に  
は更に八百戸を建造する事になつて居る、併し彼等全部を容るゝには  
百萬圓を要するし、職員の關係もあり又之を建築するに就ても時日を  
要する、賃銀の問題は議會を通過するから彼等の満足を得  
得ることが出来ると思ふ、作業時間問題も政府に於て目下  
研究中で他の場合上之亦オインソ返答が出来ない、警戒の手は  
情性的な状態の平常に復するまではドウする譯にも行かぬ此點に  
職工の反感を高めるかも知れぬが、今は考慮の餘地  
がない、今後職工に應じ態度は急に變更する事を認めない、  
唯賃銀は一週五十六圓十錢十二圓五十錢といふ強用等を提出するや  
うな事件を惹起したといふのは返す可くも残念である云々

# 愈々持久戦

製鐵所側は多數の寝具を  
搬入して備へつゝあり

## 警官側に不平の聲

先づ既述したる職工側には全部警備工並に平穩は尙不穩の状  
態も秩序を維持して労働運動を閉  
鎖せんとする形勢なるが製鐵所側  
にはコレに對し持久戦を講ずる  
態度を立て九月午後に至り多數の  
職工側を貨物自動車に積載して構  
内に搬入しつゝあり、又不眠不休  
の活動を續けつゝある警察官には  
飲出の振りを與ふるに過ぎざる  
も製鐵所高等係員等は折詰辨論  
を自動車にて取り寄する等、警備  
を似せなし居れりして非難の聲あ  
り、事實職工より収入少き警察官  
が職工との間に感情的氣勢を早め  
つゝあるは注目すべし

## 危険状態は

### 再發すまい

#### 警戒は依然

九月午後一時製鐵所の就業状態を  
觀察せる野村八幡署長は曰く  
作業開始後の状態は修繕工場の一  
は出来ぬ(八幡來地)

職工は自重の態度を執りて  
諸機關の運轉亦た整然たり  
唯警戒のみは依然嚴重  
九日作業を開始せる八幡製鐵所は時間の経過と共に漸次其  
認め漸らき行き

## 人心沈靜

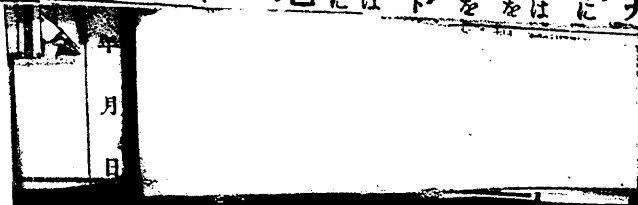
共に職工側亦努めて粗業の聲を慎み自  
重的態度を執れるより幾分は情勢的意氣分あるも大體に於て  
殆ど平日と異なる處なく十日朝も交替時間には一萬五千の職工職  
夫入場して全工場平常通りの活動を開始しつゝあり、前夜迄同  
罷業の餘波を受けて休止の状態にありし橋内無数の運搬用ケ  
ブルカーを始め材料運搬鐵道も亦一齊に運行を始め作業状態整  
然として何等の缺陥なきもの、如き

## 警官憲兵

の警戒は依然として物々しく恰も職工に  
於ける假設武器工場の觀あり(八幡來地)

## 進獻嘉納

天皇陛下御即位大典の際奉祝の  
ため司法省職員一同より天皇陛  
下に太刀一口内務省職員全部に  
天皇陛下太刀一口皇后陛下に厨  
子棚を獻上する事となり九日獻  
上の手續をなしたるを以て宮内  
省總務課勅務金殿宮内閣は之を  
捧持し十日葉山御用邸に同儀し  
侍從員を懸て奉進の手續をなし  
兩陛下には御嘉納あらせられた  
る由承る(東京電話)



真